

「凝固異常症患者における診療記録を利用した観察研究」について

研究責任者：東京大学医科学研究所附属病院 関節外科
竹谷 英之

東京大学医科学研究所附属病院関節外科にて凝固異常症の治療を受けられた方へ

東京大学医科学研究所附属病院関節外科では 2006 年に開設以来、血友病を中心とした凝固異常症の方の整形外科的治療（手術やリハビリテーション）を行ってきました。凝固異常症は希少疾患であり、凝固異常症をもつ方を対象とした整形外科治療に関する臨床経験は貴重です。近年、凝固異常症の大半をしめる血友病研究の発展はめざましく、異なる作用機序の治療薬が登場し、血友病治療はより高度で複雑となりつつあります。本研究では、当科で治療が行われた凝固異常症の方を対象として、凝固異常症の診断や治療の状況を診療情報を用いて検討します。これにより、今後の凝固異常症の整形外科診療に役立てることができると考えています。

【研究の対象となる方】

2006 年以降、凝固異常症にて東京大学医科学研究所附属病院関節外科の受診歴がある方を対象としております。

【研究に用いる情報の種類】

通常診療において得られた診療情報：年齢・性別・受診期間・問診内容・身体所見・治療に必要な他院からの紹介状・診断法・治療法・治療経過・検査所見・画像検査・病理所見・転帰・合併症・副作用・他科の診療記録など

【研究期間】

2020 年 8 月 28 日～2023 年 8 月末日まで

【本研究の目的】

本研究は、東京大学医科学研究所附属病院関節外科を受診し、凝固異常症と診断された方を対象に、検査所見・臨床経過・治療法の有効性や合併症を検討し、当院での診断や治療の状況とその効果を把握・検討することにより、今後の凝固異常症の診断、整形外科治療法の確立に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医科学研究所倫理審査委員会の承認を受け、東京大学医科学研究所

附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記載されている血液検査、画像検査、理学所見などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担をいただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの情報・データ等は解析する前に氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において研究責任者（竹谷英之）が鍵のかかるロッカーなどで厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご本人によるご連絡が困難である場合にはご家族などの代理の方からのご連絡でも構いません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、本研究に同意いただけない場合でも診療に不利益がでることはありません。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

2020年8月28日

【問い合わせ先】

東京大学医科学研究所附属病院関節外科 講師 竹谷英之

住所 東京都港区白金台 4-6-1

電話 03-3443-8111（東京大学医科学研究所附属病院代表）内線 75035

FAX 03-6409-2402